

特 長

1. 技術開発の背景及び契機

近年、少子高齢化に伴い、省人省力化、工期短縮、施工性に優れた製品が求められています。そこで、これまで現場打ちコンクリートにて施工されていたウイングの工期短縮を図るため、プレキャストウイングを開発しました。

2. 技術の内容

プレキャストウイングはハンチ部のループ継手構造により、プレキャストボックスカルバートと一体化する工法です。

3. 技術の効果

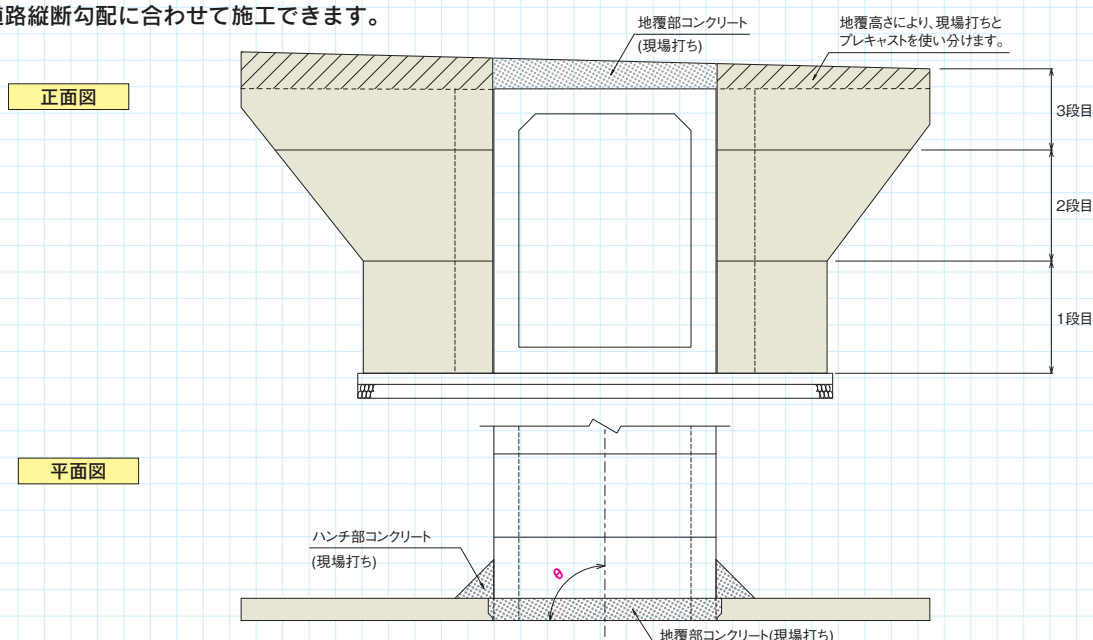
特殊な技術を必要としないので施工性が良く、大幅な工期短縮が図れます。

4. 技術の適用範囲

- 張出し長さ8m、全体高さ8mまで、対応できます。
- 斜角ボックスにも対応できます。
- 「道路土工—カルバート工指針」に準拠しています。



●道路縦断勾配に合わせて施工できます。



■ウイング部材 組立状況

1 1段目ブロック据付



2 2段目ブロック据付



3 ブロック据付完了



プレキャストボックスカルバートとの併用により、大幅な工期短縮と高品質な施工が可能となり、トータルコストの縮減が図れます。